

C O N T E N T S

Mili Fuku DO!!
Military Style Illustrated



002 PROLOGUE なぜ兵士はカッコイイのか?

005 第1章 Fashion goes to Nam 1960-1975 ベトナム ウォースタイル

- 006 ベトナム ウォースタイル《ヴィジュアル・インデックス》
- 010 00 兵士たちの9つのルール
- 012 01 足元のゆるみが命取り! 裾の上げ方
- 013 02 熱帯地域で戦う兵士の知恵 腕まくり
- 014 03 その絶妙な皺寄せが男の勲章 グリーンベレーの被り方
- 015 04 最もナチュラルなカモフラージュ!? ジャングルファティーグの汚し方
- 016 05 士気と格式を高める兵士の美学 プレスのかけ方
- 017 06 制服を彩る勲章のルール インシグニア&アクセサリの付け方
- 018 07 制式ルールをマスターする インシグニアの付け方
- 020 08 戦地の救急救命士 メディックのかたち
- 021 09 軍隊の治安を守る MPスタイル
- 022 10 応急処置だけじゃない ネットワークの応用
- 023 11 思い出のグラフィティ ヘルメットをカスタムする
- 024 12 戦地で生まれた ユティリティキャップの被り方と種類
- 026 13 ミルスベックの存在が米軍ウォッチを変えた
- 028 14 ざりげなく見せる銃のオシャレ? スリングの種類と持ち方
- 029 15 戦場で生まれた書体 ステンシルの入れ方
- 030 16 身体への負担を軽くする コンバットバックの収納法
- 031 17 複数持ちが基本 水筒の種類と持ち運び方
- 032 18 兵士の胃袋を満たす究極のアウトドア クレーション、ジッポー、P-38
- 033 19 兵士の休息の場をつくる シェルターのルール
- 034 ウォーコミックで観る ベトナム戦争物語



039 第2章 Dressed for Duty Frontline Fashion 1891-1991 最前線ファッション

- 040 01 フランス大陸軍 皇帝近衛擲弾歩兵連隊
- 041 02 第2次ボア戦争のイギリス陸軍
- 042 03 戦うためのドイツ軍装備
- 043 04 第1次世界大戦のフランス軍
- 044 05 ロイヤル・スコットランド第3大隊ブラックウォッチ
- 045 06 バーナード・モンゴメリー元帥
- 046 07 ロンメル將軍
- 047 08 ラルフ・アルジャー・バグノルド
- 048 09 ドイツ空挺部隊
- 049 10 ハンス・ゼムスキー
- 050 11 Uボート エース
- 051 12 アメリカ合衆国海軍水兵
- 052 13 マッカーサー元帥
- 053 14 アメリカ合衆国陸軍士官学校
- 15 アメリカ合衆国海軍兵学校
- 054 16 U.S.陸軍航空隊
- 055 17 アメリカ陸軍戦闘服と作業服
- 056 18 フランス外人部隊
- 057 19 マシュー・B・リッジウェイ
- 058 20 グリーンベレー
- 059 21 デザートストーム

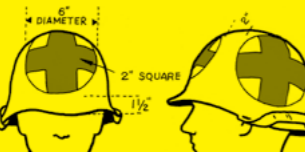


061 第3章 Women at War 女性兵士とファッション「合衆国女性部隊」

081 第4章 Myriads of Uniforms 軍服・軍装 イラスト大全

[SOLDIER(兵士のスタイル)編]

- 082 WWII: アメリカ陸軍機甲兵
- 084 WWII: アメリカ合衆国海兵隊
- 086 WWII: アメリカ陸軍衛生兵
- 088 WWII: アメリカ陸軍歩兵
- 090 WWII: アメリカ陸軍空挺兵
- 092 WWII: アメリカ陸軍空挺兵装備類
- 094 WWII: アメリカ陸軍山岳兵
- 096 WWII: アメリカ陸軍山岳兵装備類
- 098 WWII: アメリカ陸軍山岳兵装備類-2

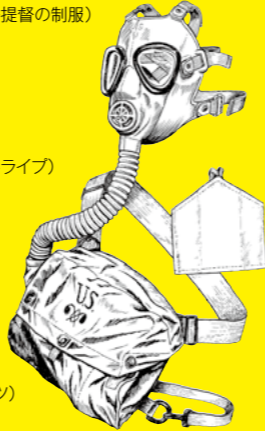


[DIVER(ダイバーのスタイル)編]

- 100 なぜ、男たちは深海をめざすのか!? 海中を生き抜くダイバーズ発達史
U.S.NAVY in KOREA WAR: UDT (Underwater Demolition Teams)
- 101 WWII U.S.ARMY DIVING SYSTEM: SCUBA
- 102 WWII U.S.NAVY UDT: 環境圧潜水
- 103 WWII U.S.NAVY UDT: 循環式潜水装置(フリーザー)
- 104 WWII: 特殊潜航艇(UK, ITALY, GERMANY)
- 106 WWII~1949: ジャック・マスクと閉鎖式回路再呼吸ダイビング
- 107 U.S. NAVY UDT 1959~: コンバット・スイミング
- 108 U.S. NAVY UDT 1960~: ネイビー・シールズの誕生
- 109 SEAL's IN VIETNAM 1962~: LDNN(ベトナム語シールズ)
- 110 SEAL's and APOLLO 11 1969/7: バラダイバー
- 111 SEAL's 1980~: ドレーゲル LAR-V

113 第5章 A Stitch in Time ファッションの素 戦争から生まれたディテール

- 114 ◎Coatee and Swallowtail(米海軍ベリ-提督の制服)
- ◎WASP(米軍女性パイロット)
- ◎Peanut Suit(米軍女性海兵隊員)
- 115 ◎Irvin Flying Jacket(アービン飛行服)
- ◎Blood Chit(米軍ブラッド・チット)
- ◎Star and Chevrons(ランク章)
- 116 ◎Tiger Stripes(南ベトナム軍タイガー・ストライプ)
- ◎Shorts in Vietnam(米軍短パン)
- ◎Don't Tread on Me(米国ガス騰旗)
- 117 ◎M1 Helmet(米軍鉄バチ)
- ◎Leggings(米軍レギンス)
- ◎Sailor Pants(米海軍ベルボトムス)
- 118 ◎Bonnet De Police(仏軍略帽)
- ◎Canteen(米軍水筒)
- ◎Snap Fasteners(独軍ドット・ボタン)
- 119 ◎M38 Jump Trousers(独軍降下用パンツ)
- ◎Wristwatch(腕時計)
- ◎Mountain Jacket Backpack With(米軍山岳用ジャケット)
- 120 ◎A Thumb Up for Number One(米軍ノーズ・アート)
- ◎Bayonet & Scabbard(銃剣と鞘)
- ◎The Vest of Best(米軍サバイバル・ベスト)
- 121 ◎USN Type N-1 Bib Front Winter Trousers(米海軍冬期用パンツ)
- ◎Fourragere, Wing and Lanyard(飾緒、肩飾り)
- ◎Star Cross(米国南部旗)
- 122 ◎Chambray Shirts(米海軍水兵用シャツ)
- ◎Fin of the UDT(米軍潜水用フィン)
- ◎U.S.Tanker Helmet(米軍戦車兵用ヘルメット)
- 123 ◎Mae West(米軍救命胴衣)
- ◎Flak Jacket(米軍防弾服)
- ◎Red Trousers(仏軍バンタローン・茜色)
- 124 ◎Campaign Drill Sergeant Hats(米軍キャンペーン・ハット)
- ◎Riding Clothes(米軍乗馬服)
- ◎USN Type N-1 Sea Water Wash Work(米海軍デッキ・ジャケット)
- 125 ◎The Rommel Leather Greatcoat(独軍ロンメルコート)
- ◎Men with Tails(英軍降下服)
- ◎Musette Bag(米軍ミュゼット・バッグ)
- 126 ◎G-1 Flight Jacket(米軍フライト・ジャケット)
- ◎Dungaree Jumper(米海軍作業服)
- ◎Panzer Wrapper(独軍戦車服)
- 127 ◎Long Range Dessert Group(英軍砂漠偵察隊)
- ◎Net in Vietnam(米軍防虫ネット)
- ◎Adrian Helmet & Brodie Helmet(仏軍鉄バチと英軍鉄バチ)



Mil-Mix column

- 038 戦争年表
- 060 アメリカ海軍の頑固もの G-1 Blues
- 080 双腕の稲妻野郎たち P-38 LIGHTNING
- 112 made in U.S.A. ナンバーワンオイルライター ZIPPO Joe

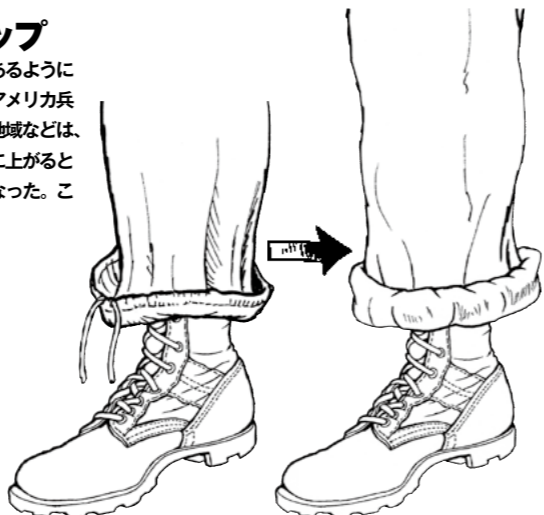


01 足元のゆるみが命取り! 裾の上げ方 (トラウザーズ・ブラウス)

軍規定では、トラウザーズをブーツの上で絞るか、ブーツの中に入れ膨らます。紐は解いて、通気を良くしたりトラウザーズの下部を乾かしやすいようにしても良い。但しこの場合はヒルや虫が入ってこないように防虫剤をかける。パレードなど式典の場合は、上から3番目の鳩目より垂れてはならない。

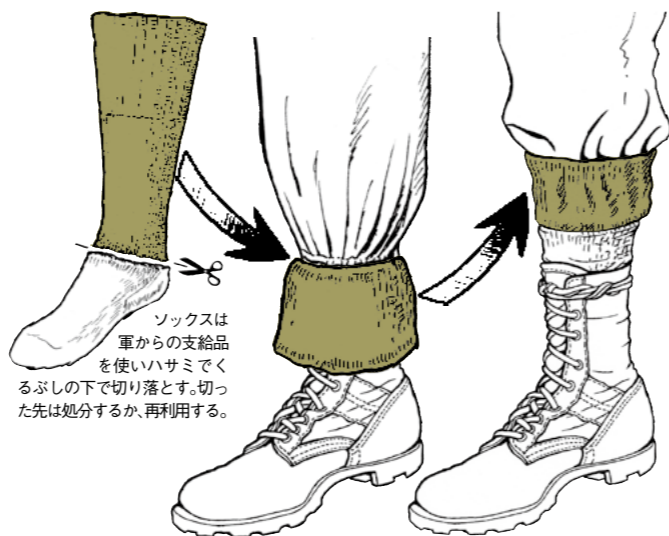
■ロール・アップ

裾処理の方法は規定にもあるようにベトナムでの自然環境はアメリカ兵を苦しめた。河川の多い地域などは、裾を締めて川につかり陸に上がるとトラウザーズが水風船になった。このため裾は留めなかった。



■ソックスレギンス・イン

トラウザーズは熱帯用に考えられたスタイルなので肌が服に触れにくくしてある。特殊部隊などの偵察部隊は裾を膨らましていると早く走れないのでソックスで押さえた方法を編み出した。この他に布製の粘着テープなどで膝下を巻いた。



ソックスは軍からの支給品を使いハサミでくるぶしの下で切り落とす。切った先は処分するか、再利用する。

ジャングル戦ではブーツに草などが絡み付く。これを少しでも解決できる靴ひもの編み上げ方。進行方向に対して、左右の上にくる靴紐を全て外側にする。このアイデアは特殊部隊の隊員たちから始まった。さらに、結び目の輪は命取りになので編み上げて余った紐は必ず内側に押し込む。

【シューレースに】
こだわる



■リース・アップ

規定にある基本的なビルド・イン・ブラウジング。裾は紐で締めるため十分な長さを確認する。ブラウジングをする時は、ブーツの鳩目の上部を隠すぐらいの長さにする。リースを使わずに輪ゴムのようなピース・コードも使った。コソは、やや靴の真ん中あたりで留めてトラウザーズをすりあげてブラウジングするとやりやすい。

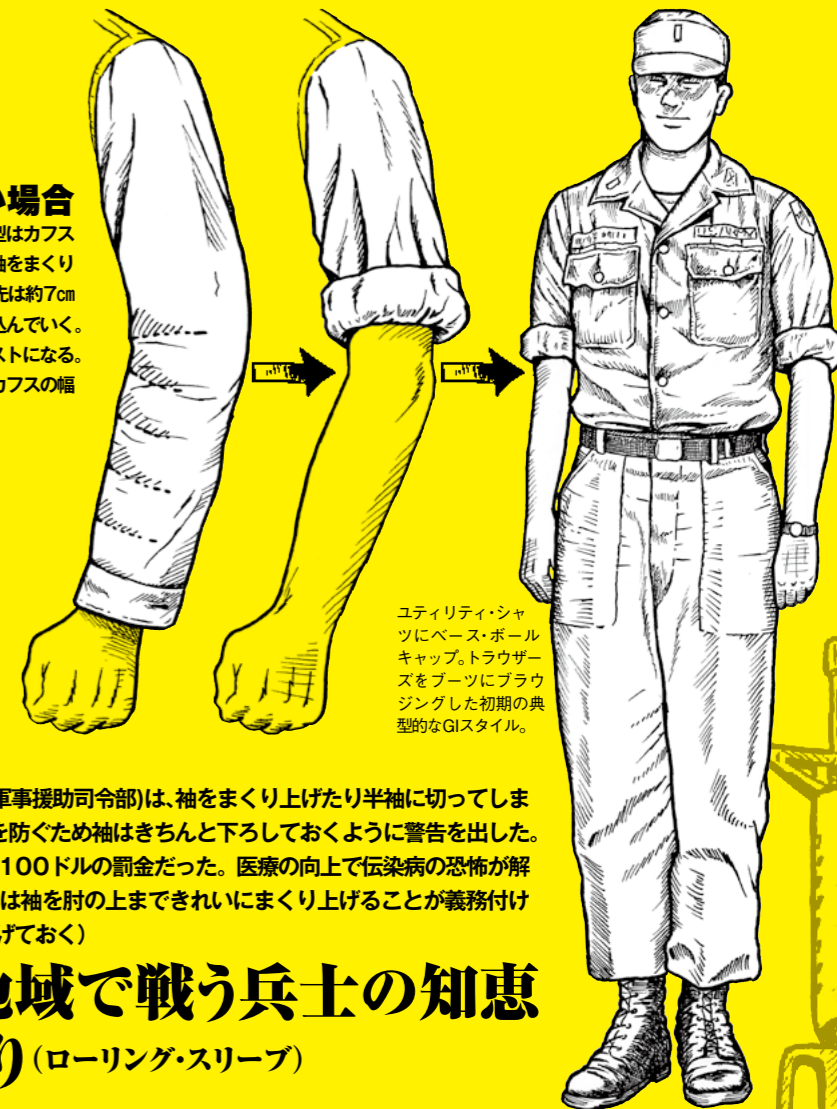
■タック・イン

裾のブーツの中押し込む場合にスネにあたる部分にしわを作らないようにすることが大事。両手でトラウザーズをしっかり伸ばすしてタック・インする。もうひとつは、トラウザーズの裾を前にひっぱり回し込む方法もある。ともかく、作戦行動中にスネに違和感を感じても直すことはできない。



■カフスがない場合

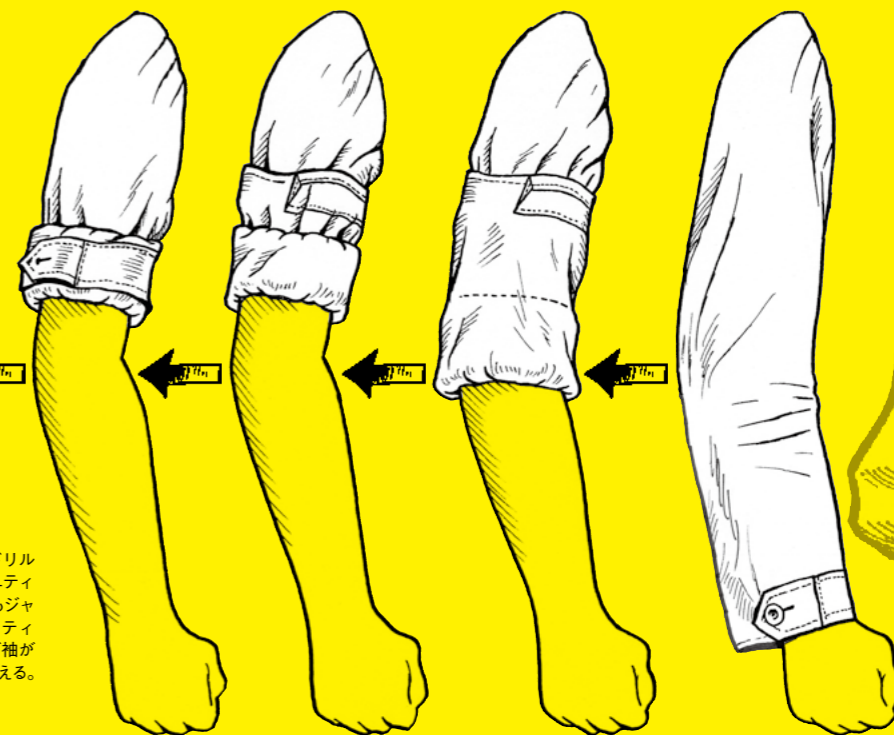
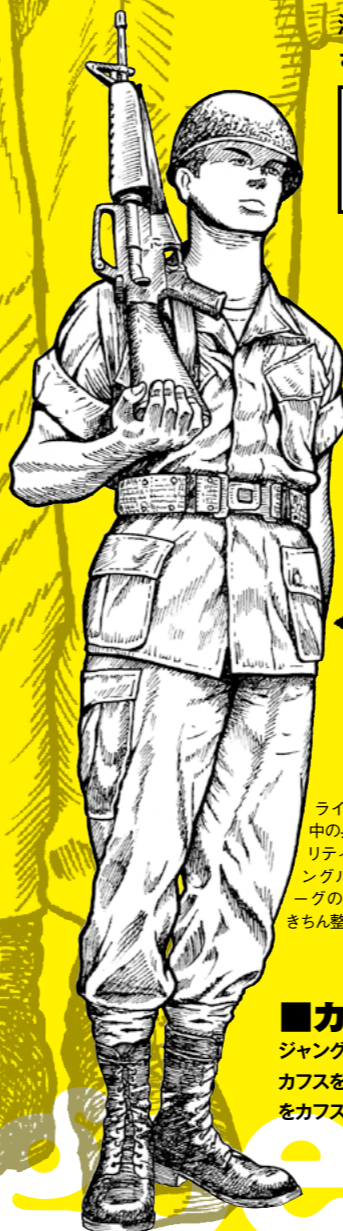
ユティリティ・シャツの初期型はカフスが付いていなかったために、袖をまくり上げる幅に個人差が出た。袖先は約7cmほどの幅を保ち裏側して折り込んでいく。肘の上までには6折り目がベストになる。後期型にはカフスが付いたためカフスの幅を利用して折り込めた。



ユティリティ・シャツにベース・ボールキャップ。トラウザーズをブーツにブラウジングした初期の典型的なGIスタイル。

1965年 MACV(在ベトナム 軍事援助司令部)は、袖をまくり上げたり半袖に切ってしまう兵士たちに、蚊による伝染病を防ぐため袖はきちんと下ろしておくように警告を出した。当時、袖きり100ドル、幅ソ×100ドルの罰金だった。医療の向上で伝染病の恐怖が解決され1967年に軍事施設内では袖を肘の上まできれいにまくり上げることが義務付けされた。(但しフィールドでは下げておく)

02 熱帯地域で戦う兵士の知恵 腕まくり (ローリング・スリーブ)



ライフルドリル中の兵士。ユティリティよりもジャングル・ファティグのほうが袖がきちんと整って見える。

■カフスがある場合

ジャングル・ファティグもユティリティと同様の袖をまくりをするが、こんな方法もあった。「すぐに袖を下げられるロール・アップ」カフスを裏返し一気に腕の付け根まで引き上げる。最後に折り返し位置を決める。カフスの幅を調節しながら3等分にする。下の折り口をカフスの付け根に合わせて上に折り込む。上のカフスをその上に折り返す。巻き込まれた部分を調節しながらカッコよく整える。

Women at War

アメリカが参戦してわずか5か月後の事だった。すでにイギリスでは女性部隊ATS(国防義勇補助部隊)が設立され事務職から管理職などに活動を開始していた。始めは屋内だけで働くためにユニフォームはジャケットとスカートだけだった。しかし、戦争の拡大に伴って女性たちの職種も増え対空砲兵隊まで配属された。もはやサービス・ユニフォームだけで対応できなくなり戦闘服が支給された。すべて男性用だったためにうまく適合せず問題となり新たに女性用として作られることになった。

アメリカ軍はWAAC(陸軍女性補助部隊)を設立する前にATSを視察し服作りは陸軍補給部で始まった。基本的には男性用陸軍ユニフォームのイメージに類似する考え方だった。しかし、女性の為にユニフォームをデザインした事がなく多くの苦勞を余儀なくされることになる。

最初に作られたサービス・ユニフォーム・ジャケットは4つボタンでシングル・フロント、4個のポケットにバックル付きワイド・ベルト留め、スカートは6枚ハギのAライン・スタイルだった。ベルトは極端に締め付けて着る隊員が多くカッコ悪いので廃止になる。素材では不快感と洗濯すると縮むなど不評だらけだった。さらに女性の体型にパターンが合わず採寸データも取らずにS、R、Lとサイズを作った。シューズについても同様でヒールをやや高くするなど初めから作り直された。

HBT素材の作業服もゆとりある大きさや使い込むと汚らしくなることも不満だった。サービス・ハット、通称ホビー・ハットは洗濯がしやすく被らず持ち歩く場合にはケースに入れるなど取り扱いが面倒だった。このためギャリソン・キャップへの移行を早めたことになる。こうして試行錯誤を繰り返しながら大戦中にも関わらず細部の改良や変更は終戦まで続けられた。

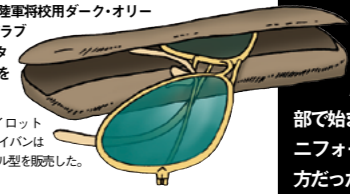
20世紀に入る前までには、女性たちがユニフォームを着る文化はないに等しい。ユニフォームは常に戦いに備えた服であり男たちのものだった。女性を男仕立てのユニフォーム・スタイルに見せることがどれだけ困難だったか伝わってくる。体型が違うだけでは理由にならなかった。綺麗で涼しい女性用ユニフォームが完成したのは、これらを乗り越えたからこそではないだろうか。



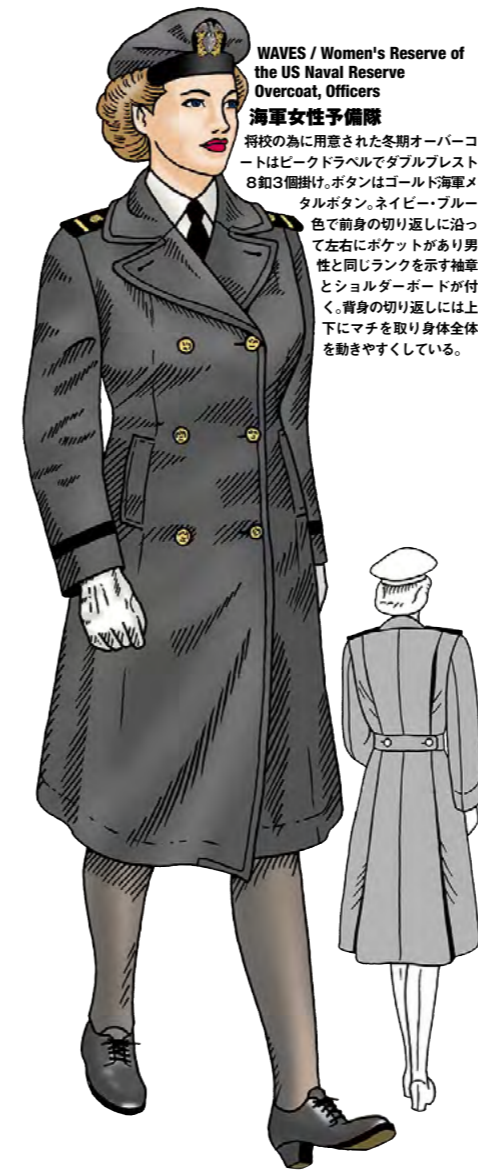
WASP / Women Auxiliary Ferrying Squadron of Women Pilots
Pinks and Greens Working Uniform

女性パイロット部隊(陸軍航空隊)

WASPは、二人の飛行経験豊富な民間女性パイロットが、ルーズベルト大統領の妻に宛てた戦時外任務の援助協力の手紙から始まった。日本との戦争が始まると急ピッチに女性パイロットの育成がスタートした。シャツは陸軍将校用ダーク・オリブドラブ(グリーン)でこれにライト・オリブドラブ(ピンク)トラウザーズを合わせたセパレート・スタイル。HS-38ラジオ・ヘッドセットはゴム・カップを外して使った。



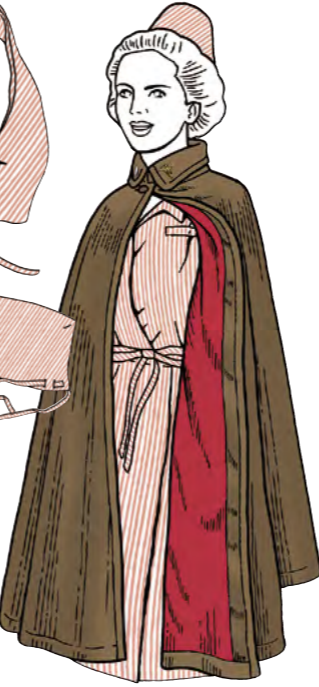
すでに男性パイロットが使用していたレイバンは女性用にスモール型を販売した。



WAVES / Women's Reserve of the US Naval Reserve
Overcoat, Officers

海軍女性予備隊

将校の為に用意された冬期オーバーコートはピークドラベルでダブルプレスト8個3個掛け。ボタンはゴールド海軍メタルボタン。ネイビー・ブルーで前身の切り返しに沿って左右にポケットがあり男性と同じランクを示す袖章とショルダーボードが付く。背身の切り返しには上下にマチを取り身体全体を動きやすくしている。

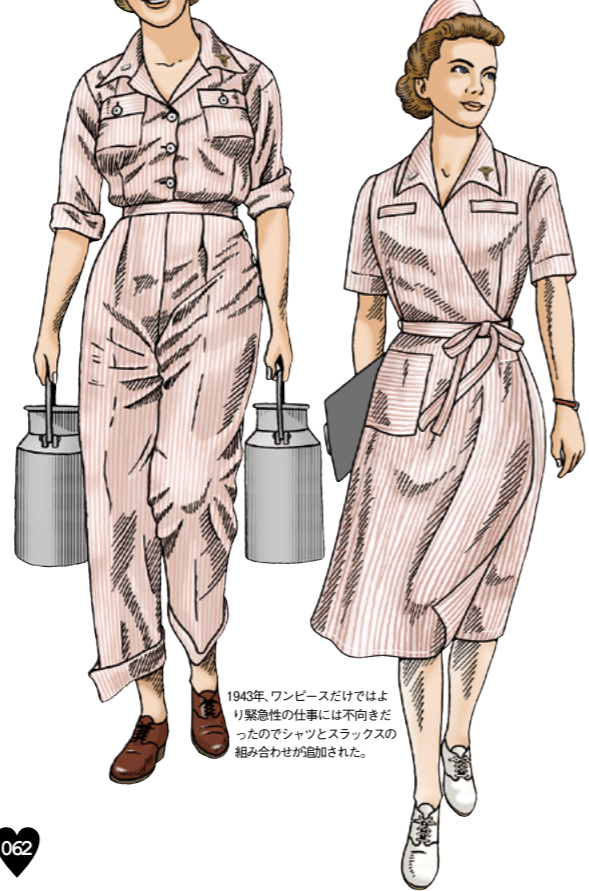
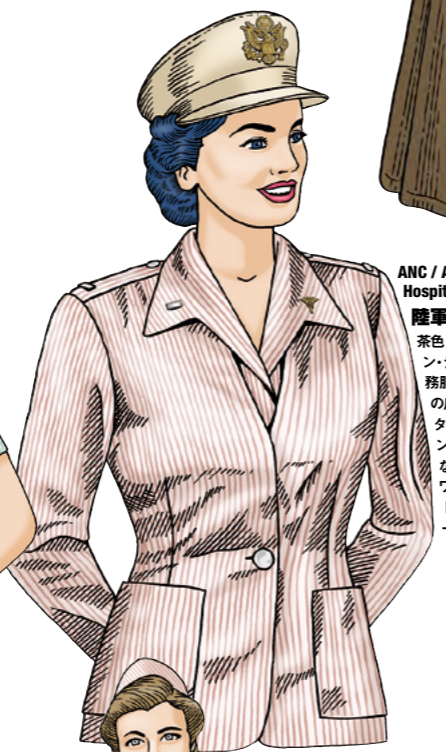


制服と同素材のナース・キャップは長方形で頭の上で丸め紐で留め。夏期使用のため通気性にこだわったシンプル作りになっている。

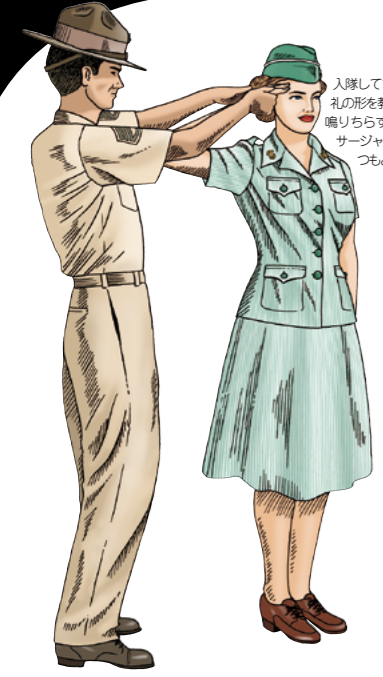
ANC / Army Nurse Corps
Hospital Uniform

陸軍看護部隊

茶色と白のストライプ柄でコットン・シアサッカー生地。病院勤務は1942年に採用された。幅の広い特付いたラベルがないタイロケンのワープ・アラウンド・ワンピース。これに特のないカーディガンスタイルのワンピース・ジャケットがセットされた。同素材で紐留めのナース・キャップも用意された。



1943年、ワンピースだけではより緊急性の仕事には向きだったのでシャツとスラックスの組み合わせが追加された。

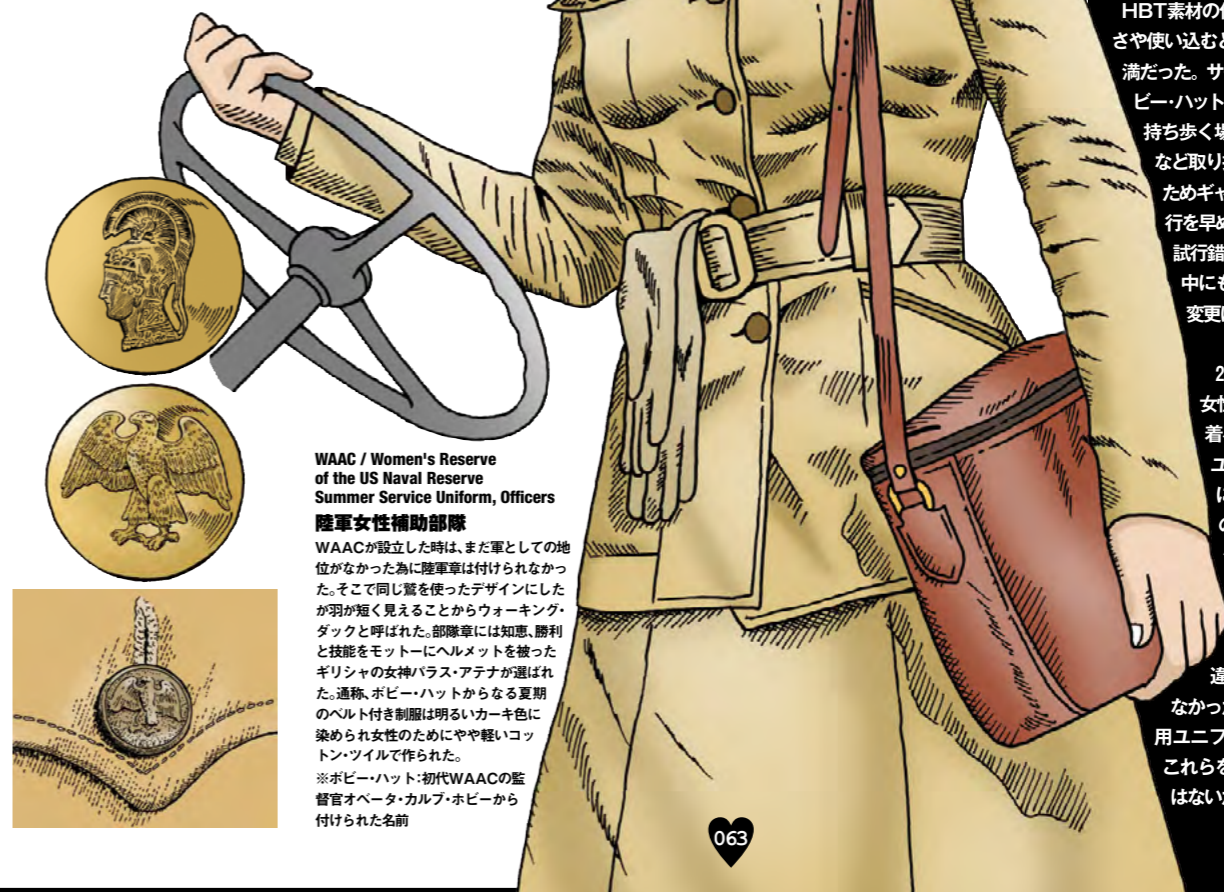
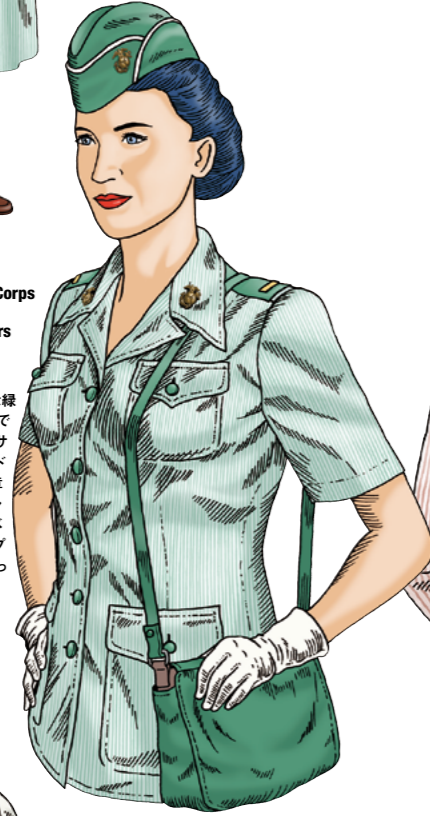


入隊してすぐに敬礼の形を教わる。怒鳴りちらすドリル・サージャントがいづもと違う。

USMCWR / United State Marine Corps
Women's Reserve
Summer Service Uniform, Officers and Enlisted Personnel

合衆国海兵女性予備隊

夏の女性海兵隊員の制服は鮮やかな緑と白のストライプ柄。素材は各軍共通で快適さと洗濯が容易なコットン・シアサッカー生地が選ばれた。半袖でノッチドラベル、シングル・フロントは海兵隊章が彫られた緑色のプラスチックのシャンクボタン。4つのポケットはすべてパッチ・アンド・スカラップ・フラップでショルダー・ストラップが付く。真っ白な制服は通常礼装になる。

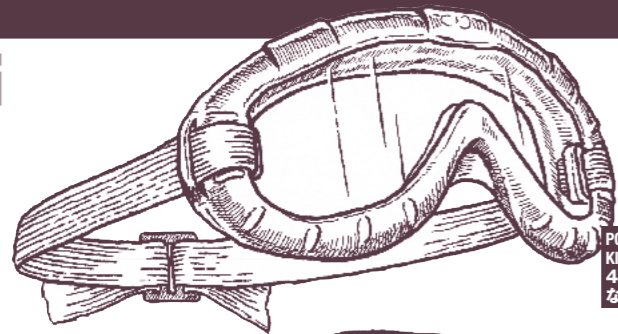


WAAC / Women's Reserve of the US Naval Reserve
Summer Service Uniform, Officers

陸軍女性補助部隊

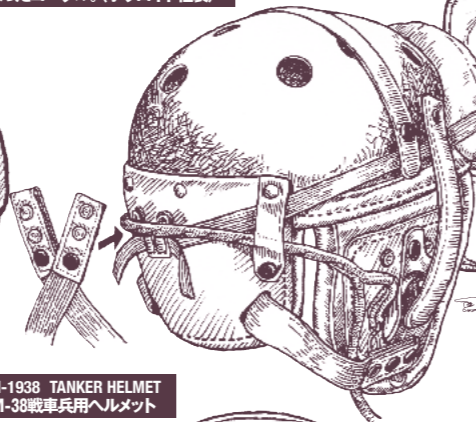
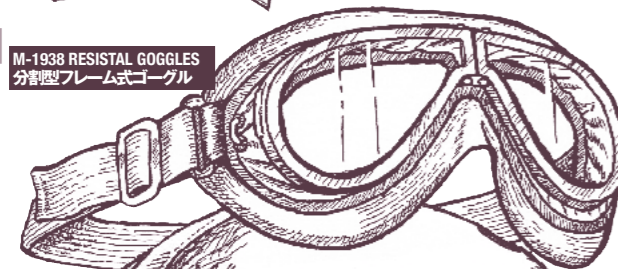
WAACが設立した時は、まだ軍としての地位がなかった為に陸軍章は付けられなかった。そこで同じ翼を使ったデザインにしたが羽が短く見えることからウォーキング・ダックと呼ばれた。部隊章には知恵、勝利と技能をモチーフにヘルメットを被ったギリシャの女神パラス・アテナが選ばれた。通称、ホビー・ハットからなる夏期のベルト付き制服は明るいカーキ色に染められ女性のためにやや軽いコットン・ツイルで作られた。
※ホビー・ハット:初代WAACの監督官オベータ・カルブ・ホビーから付けられた名前





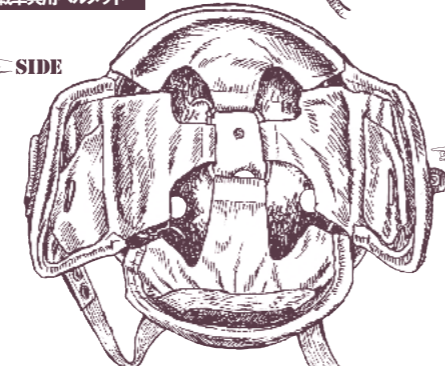
POLAROID ALL-PURPOSE GOGGLE
KIT NO.1021
4種類のカラーフィルターがセットに
なったゴーグル。(ホラロイド社製)

M-1938 RESISTAL GOGGLES
分音型フレーム式ゴーグル

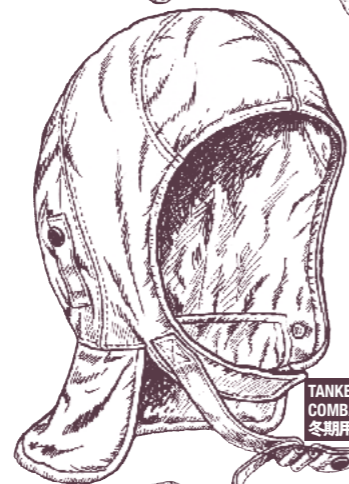


M-1938 TANKER HELMET
M-38戦車兵用ヘルメット

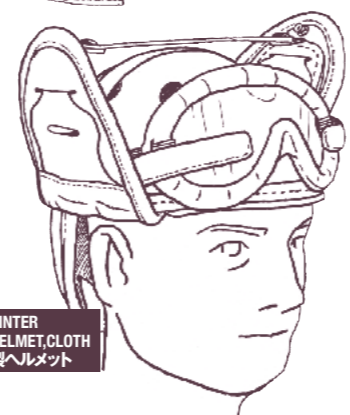
SIDE



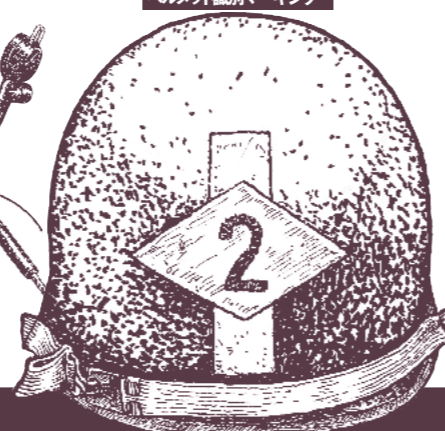
INNER



TANKER, WINTER
COMBAT HELMET, CLOTH
冬期用布製ヘルメット

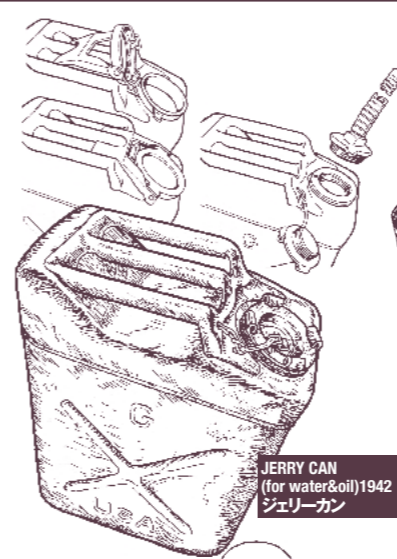
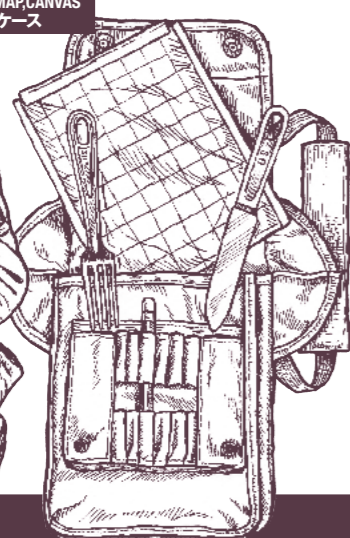


2nd. RANGER BATTALION
(Helmet back paint)
ヘルメット識別マーキング

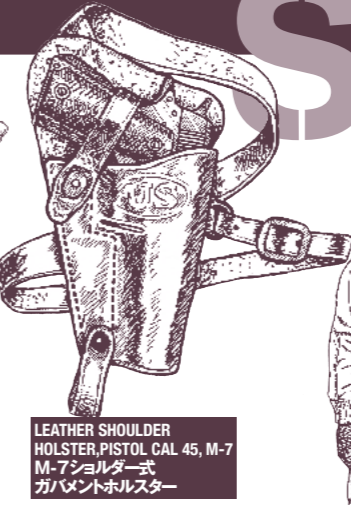


HS-18 HEADSET, T-17 MICROPHONE, R-14 EARPHONE
(AAF)
TANK TALK SWITCH & LANYARD
HS-18ヘッドセット
T-17マイクとR-14イヤホン
(陸軍航空隊仕様)

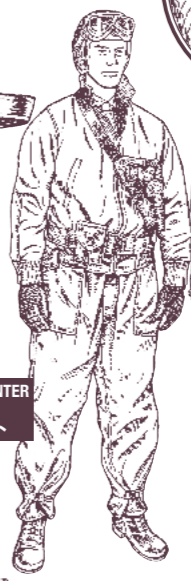
CASE, MAP, CANVAS
マップケース



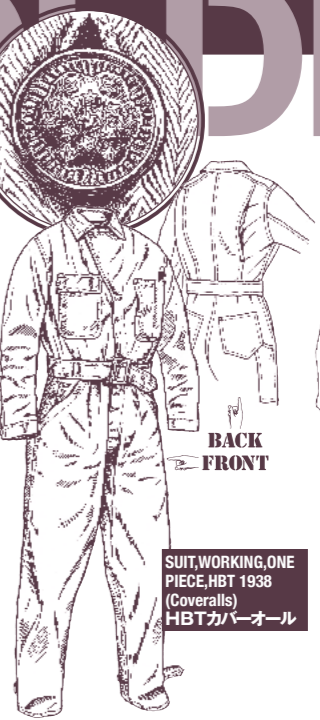
JERRY CAN
(for water&oil) 1942
ジェリーカン



LEATHER SHOULDER
HOLSTER, PISTOL, CAL. 45, M-7
M-7ショルダー式
ガバメントホルスター



JACKET, COMBAT, WINTER
(Tanker Jacket)
タンカーズジャケット



SUIT, WORKING, ONE
PIECE, HBT 1938
(Coveralls)
HBTカーバーオール

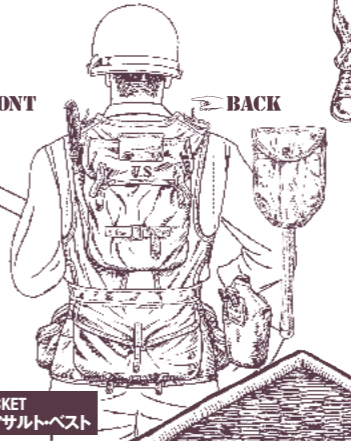
TROUSERS, COMBAT, WINTER
(Bib front overalls)
タンカーズトラウザーズ



M-7 WATER POOF CARRIER FOR
M-5 ASSAULT GAS MASK
M-5ガスマスク用
防水加工のキャリア

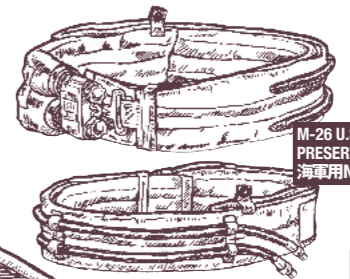


FRONT



BACK

ASSAULT JACKET
レンジャーアサルトベスト



M-26 U.S. NAVY LIFE
PRESERVER
海軍用M-26救命胴衣

MITTENS, FUR & LEATHER
冬期用ミットングローブ



GLOVES, A-11 (AAF)
A-11グローブ
(陸軍航空隊仕様)



RENGER BATTALION
(2nd. & 5th.)
レンジャーパッチ

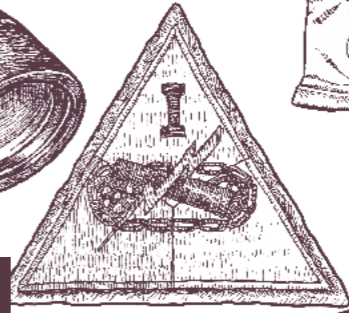


BINOCULAR 6X30 M-9
M-9 アメリカ陸軍双眼鏡

LENSATIC COMPASS & CASE
レンジティックコンパス



U.S. ARMY 1ST. ARMORED
DIVISION
米軍第1機甲師団パッチ

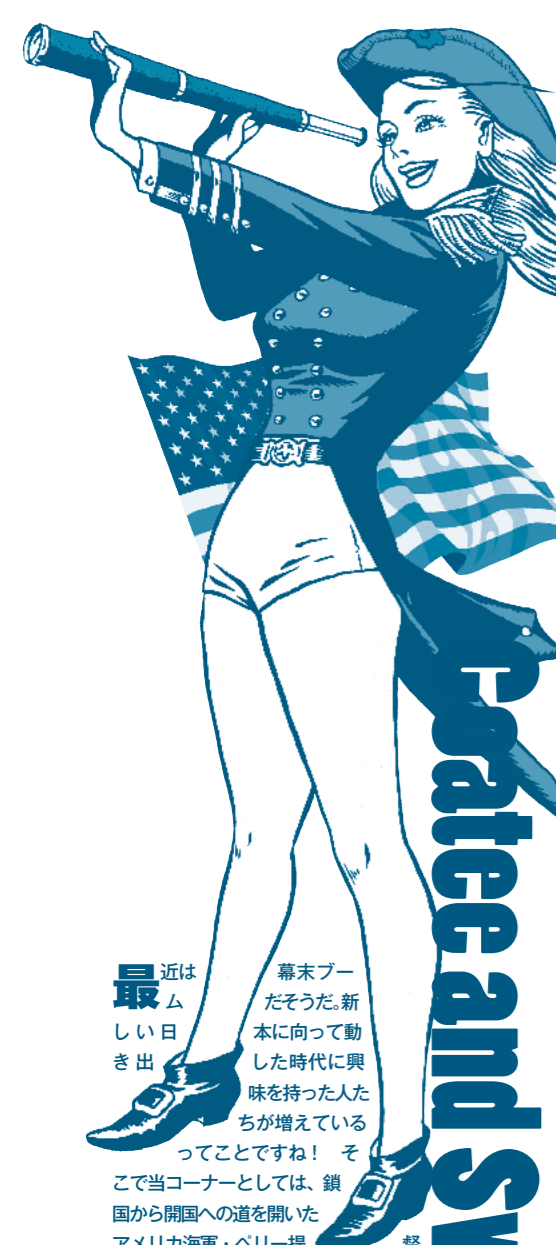


SHOSE, SERVICE, REVERSE UPPER
アングルシューズ (裏皮使い)

TANKERS SOLDER
M-38ヘルメットにゴーグル、
タンカーズジャケットで敵を
捜す戦車兵

WWII アメリカ陸軍機甲兵

第1次世界大戦後に世界各国の軍隊は—齊に機械化へと進めていく。特に航空機、戦車、大砲は軍需産業の柱となっていた。アメリカ軍も1930年代に機甲小隊を立ち上げた。大砲などは馬で運ぶために騎兵隊の傘下から始まった。この為に制服の基準は騎兵用のスタイルになった。パットン将軍のブリーチはその象徴になる。



1 939年アメリカ。「戦闘外で働くパイロット兵士をより戦力にさせるために、私たち女性パイロットがその任務を引き継ぎます!」と、ひとりの民間女性パイロットがルーズベルト大統領夫人に手紙を送った。彼女の名はジャッキー・コト飛行操縦を仕事としていたジャクリン・コ克蘭だった。

1940年になるともうひとり、同じような提案をした女性パイロットは、ナンシー・ハークネス・ラブだった。当時、アメリカはまだ物資支援だけで参戦はしていなかったために、この提案に軍関係者はほとんど無関心だった。ジャッキーは計画案を作り積極的に活動したことで、輸送部隊のアーノルド将軍より爆撃機をイギリスへ届ける任務をまかされた。女性として軍用機で初めて大西洋を越えたのだった。イギリスではすでに軍のBATAで働いている女性パイロットたちがいたので、彼女はすぐさま交流し活動に参加した。ハワイ……突如として起こった真珠湾攻撃でこれらの提案が一変する。ナンシーは軍人の夫を通して陸軍航空隊より女性パイロットチームを作ることを任される。一方、ジャッキーは、アーノルド将軍がイギリスにいる彼女を訪ね早急に帰国して女性パイロットの組織を発足し個々に一般応募が始まった。

Check! 女性が家の外で働くことがまだ蔑視される時代に軍用機を操縦するなんて到底理解されなかった。仕事としては軍事基地に工場から航空機を届ける。大砲や機関銃の訓練用仮想標的。物資の空輸などさまざまな任務を彼女たちは問題なくクリアしてしまっただ。大戦中に彼女たちパイロットはWAACの組織に委ねられたが、職務が特殊なために適用されなかった。しかし、彼女たちの活躍は戦意高揚として高くマスメディアに取り上げられ、結果1,000名を超えた女性パイロットたちは大戦中の軍用機の78種類を操縦し、延べ12,650機を飛ばした。2方向から産声を上げた女性パイロットチームは1943年9月に合併されWASPとなった。まさにワッ・スゲイ! だな〜。…大戦終了前パイロットの不足も解消され彼女たちの翼はたまたまれた。

WASP

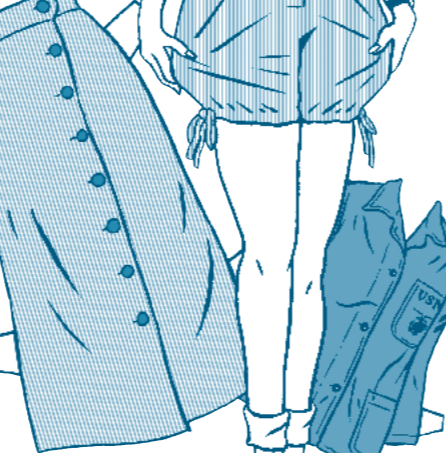
督をチェック。彼は1809年に海軍へ入隊している。後に新型蒸気船艦艦「フリントン」号などの造船に力を注ぐ。1845年にメキシコ戦争が起ると「ミシシッピ」号の艦長兼艦隊副司令官として参戦。この時代の海軍における制服は1814年の服務規定によるものになる。制帽はバイコーンで、上着はM1833フル・ドレス・テール・コート。金や銀のモールで飾られたかなり高い襟で、浅いダブルのフロントは18釦(9釦掛)のメタル・ボタンを使ったコティーと呼ばれたショートコート。前身がベルトまでのショート丈で、背身に膝の裏まであるスワローテール(バック・テール)があり、現在までも礼装用衣装デザインで我が国では通称モーニング(燕尾服)と呼ばれているスタイルになる。

Check! 2度目の来航で日本の開国に成功し本国内で任務を終えた艦隊旗は歴史的な記念品となり、「ペリーズ・フラッグ」と呼ばれ最終的にアナポリス海軍士官学校に保存された。第2次世界大戦終了後の1945年9月2日に戦艦「ミズーリ」号での降伏調印式の際に、アナポリスから運ばれた旗は92年の歳月を経て再度上陸となり、式場の壁に掲げられた。黒船来航以来、歴史が変わり新しい時代と進み最終的に「ペリー歓迎!」となる。ね〜。

第1次世界大戦での海外派兵の際、国内の事務的な職務などを任せられる人員として1917年アメリカ海軍は女性たちを動員させた。翌年に海兵隊でも3,000名の女性陣が参加した。1941年12月以後、来たるべき戦いにおいて各軍は女性たちによる予備部隊や国内支援部隊が次々と立ち上がった。1943年、海兵隊も合衆国海兵隊女性予備部隊(USMCWFR)として再編成され、事務職や、専門職として翻訳、通信、製図工などに携わり当初約1万名がUSMCWFRに勤務した。ファティーグ・ユニホームに関しては、女性たちに支給されたジャケットは、USMCと海兵隊章が黒で大きなプリントで特徴ある男性用P-41を女性用に変えた同様のデザインだった。トラウザーズも使われたが、女性用としてピブ・フロントを持つカバーオールも支給された。これにディジー・メイ・ファティーグ・ハット、またはHBTキャリソン・キャップを被った。ほかにはレクリエーション用としてイラストのように、エクササイズ・スーツとして黄褐色と白色のサッカー地でワンピースのブルー・マ

Peanut Suit

一・スタイルが着用され、その色と形から「ピーナッツ・スーツ」と呼んだ。左右の襟にはブロンズの海兵隊章が付く。さらにフロント・ボタン8個で留められるAラインのやや長い丈の巻きスカートがセットされていた。



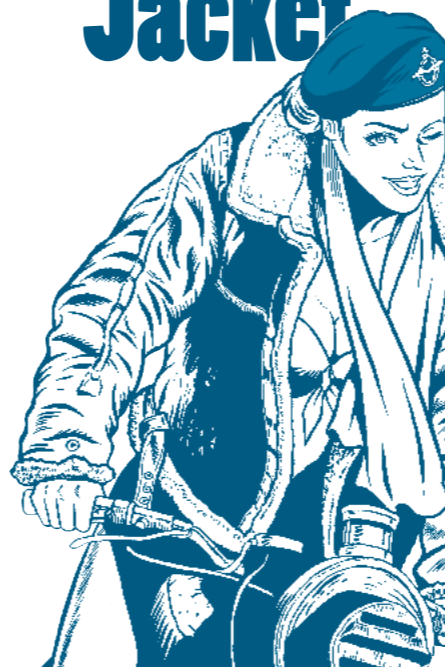
Check! 女性たちが一番気になったのはお洒落にまつわる軍規ではなかったのかと思われる。まずは宝石などの装身具類としては、質素なリング、腕時計、結婚と婚約リングと本人証明の腕輪はつけることができた。イヤリング、アングレット(くるぶし飾り)、ネックレスまたは装飾的な宝石は、どんな状況でも許されなかった。髪の毛は長さは襟より長くはできない。また髪を染めることはできたが、身分証明書の情報に合うものとされ、ヘアピン以外にすべての髪装飾は禁じられた。化粧品の使用は許されたが、過剰の化粧による演出効果はNG。ただし制服の女性用にデザインされたベルクラウン型制帽には海兵隊の赤色のデン・ストラップのコード飾りになっていて、これら着用の際にはカラー・コーディネイトとして同色の口紅とマニキュアの赤を使うことが特別に許可されていた。リップ・カラーNo.USMCレッドとなる真っ赤な本当!

1 940年8月、ヒトラーは英国本土を攻撃目標に決定し空爆が開始された。そして、「バトル・オブ・ブリテン」は現実のものとなった。この時、果敢に戦うパイロットたちを寒さから守った「アービン・フライトグ・ジャケット」をチェック。考案者は、パラシュートの先駆者である「レスリー・ルロイ・アービン」。まずは、RAF(ロイヤル・エア・フォース)が航空省の認可を受けて1931年に初期型ワンピース・モデルを製造する。なるべく縫い目を最小限度に抑えた物だった。このため非常に大量の革素材の使用が見込まれたことで、より経済的なデザインを考案する事を軍が彼に求めたのだった。結果、贅沢な1枚革の使用はやや小さなパネルをつぎ合わせる方法に変えたツー・ピース・モデルになり、表素材はかなり重厚なシープ・スキンを使用し、裏地には贅沢にムートンを貼り、最大の暖かさや機動性を組み合わせた仕上がりだった。後頭部をスッポリとカバーできる大きなワイド・カラーとバックル。脇の下には汗ヌキがあり、ウエストのベルトは防寒効果をアップ。袖の付根はユツタリとしていて肘から袖口を絞り込みジップ・ファスナーで開閉できた。こうする事で保温性が増し、グローブの脱着がスムーズに行なえた。英国軍はすぐさま採用して生産が開始された。

Check! 初めにちよこつと話した「パラ・シユート」の事。語源はフランス語の「守る一落ちる」。1783年にフランスで発明。1793年には、熱気球からジャンプして成功している。素材は主に綿製だった。背負型としては、1911年に登場している。アメリカでは、当初パイロットたちはあまり「パラシュート」を携行しなかった。しかし、1922年のある航空事故の際、アービンが考案した手動開傘式落下傘で緊急脱出し無事帰還した。この事がきっかけでパラシュートの携行がパイロットたちに標準化された。話を戻そう、戦争が拡大して行く中で、素材と経済的な圧力は増した。これにより各製造メーカーは、革パネルの大きさを小さく再分割させるなど、さらなる努力が続いた。

Irvin Flying Jacket

現在までも、国を守るため国民が丸となって作られた手作業での懸命な縫製技術は語り継がれている。



Check! 戦いにおいて同盟国となった国が共通の言語が使えらるとは限らない。目的に協力することは、長い戦いの歴史には多く存在してきた。今回は、第2次世界大戦前にアメリカが中国を支援したことをチェック! 盧溝橋事件に端を発した日中戦争は、中国軍へのビルマ(現ミャンマー)からの物資供給路を日本軍が遮断した。当時、蒋介石は軍事顧問だったクレア・L・シェンノート氏を通して志願兵による航空機による輸送の支援をアメリカに依頼。これを受けたルーズベルト大統領は、日本の大東亜共栄圏拡大の阻止になると判断し、アメリカ義勇軍(AVG:アメリカ・ボランティアー・グループ)の編成に同意した。さらに彼は戦前にアメリカの兵力を中国に送り込める絶好のチャンスと考えた。陸軍、海軍、海兵隊より志願者を募り極秘扱いのスペシャル・ユニットを創設した。当初、航空機500機を予定していたが、最終的には66機の軽爆撃機と200名のパイロット達だった。1941年4月に、トレーニングのためビルマの英国空軍の飛行場に集結した。

Check! すでに英国軍が使用中のP-40Cトマホークを政府間の交渉で取得した。さらにカーティス社よりP-40Bsを得て合計100機となり、3つの戦闘部隊(フライング・タイガース)に組織された。真珠湾攻撃以後の1942年7月にアメリカ第23戦闘航空群(23ファイター・グループ)に編入された。A-2やG-1などのフライトジャケットの背に大きく貼られたCBI「ブラッドチット」は、パイロットが不時着の際、現地人に敵ではないと示す大事なものの。別名「レスキューパッチ」とも呼ばれ、この時代のフライトジャケットを語る上では避けては通れない。戦局が拡大していくなか、最高6カ国語がプリントされた。しかしながら、戦争による各国の国内状況が変化し始め「ブラッドチット」が逆に不利になることもあり、内側に貼ることが多くなった。ブラッドチットが「ブラッドはチョットだけよ〜!」になった。*CBI(チャイナ・ビルマ・インド)戦線。

1 9世紀の終わりころまでの、兵士のランク・マークは襟章、袖章やショルダー・ストラップで識別されていた。しかし、世界的に派手だった軍服は変化し、戦い易い服への合理化が進んだ。海軍は別として陸軍では特に、将官のためのランク・マークを星形で表わすようになった。例えば、イギリス軍は王冠と四角い星(Pip)と指揮杖。フランス軍は五光星で表わし、アメリカ軍では南北戦争の時に、銀のスター章で始まった。旧ドイツ軍もコード編のショルダー・ボードの上に四角い星で表わした。旧日本軍においては、明治33年の陸軍服制によって将官から二等兵までを五光星とラインの組み合わせでランク・マークを表わした。国を問わずそのほとんどは星の数が多いほどランクが上位になる。この星形の五芒星が現われたのは、かなり古い紀元前3000年のメソポタミアの書物だと言う。さらにエジプトの絵文字で現われ、バビロニアでは地上の神イシュルタが現われたとする金星を対応させた。また、四大元素に霊を加えた5個のエレメントの形を表わした魔法のシンボルだった。そして、これがヨーロッパに伝わっていったと言われている。赤い星は社会主義や共産主義で使い、五つの社会集団のシンボルを表わしている。

Check! ここで、下士官のランク・マークの「シユエプロン」もチェック! この「シユエプロン」とは上の頂点である角度に合っている屋根の垂木を意味している構造上の語。紋章学としてのV形は、昔一族の最上部を支持する名誉のバッチとして始まり、騎士や兵士にも付けられるようになった。一説には、城などを占領した事に参戦した兵士に、その証として与えられたと言う。1820年ごろになると上下が反転した形が標準的になった。さらに、等級によってV字を増やしたり優秀な曹長などには菱形などのマークが追加されていた。最後に我が国の星は、平安時代の陰陽道による魔除けの呪符が起源と言われている。旧日本軍に使われた五光星は、確かではないが「魔除け=弾除け」と考えられたと言う説もある。結果、西洋と東洋が星に関して考え方がブレていないのにおどろかされた。「みんなが、ほ・しがった!!」って、事で……。

Star And Chevrons



Publisher
今井今朝春
Kisaharu Imai

Illustration & Text
M.Kelly (岡田 哲)
Satoshi Okada

Cover Design & Design
松浦 豪
Tsuyoshi Matsuura

Editor
浦山 真由美
Mayumi Urayama

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

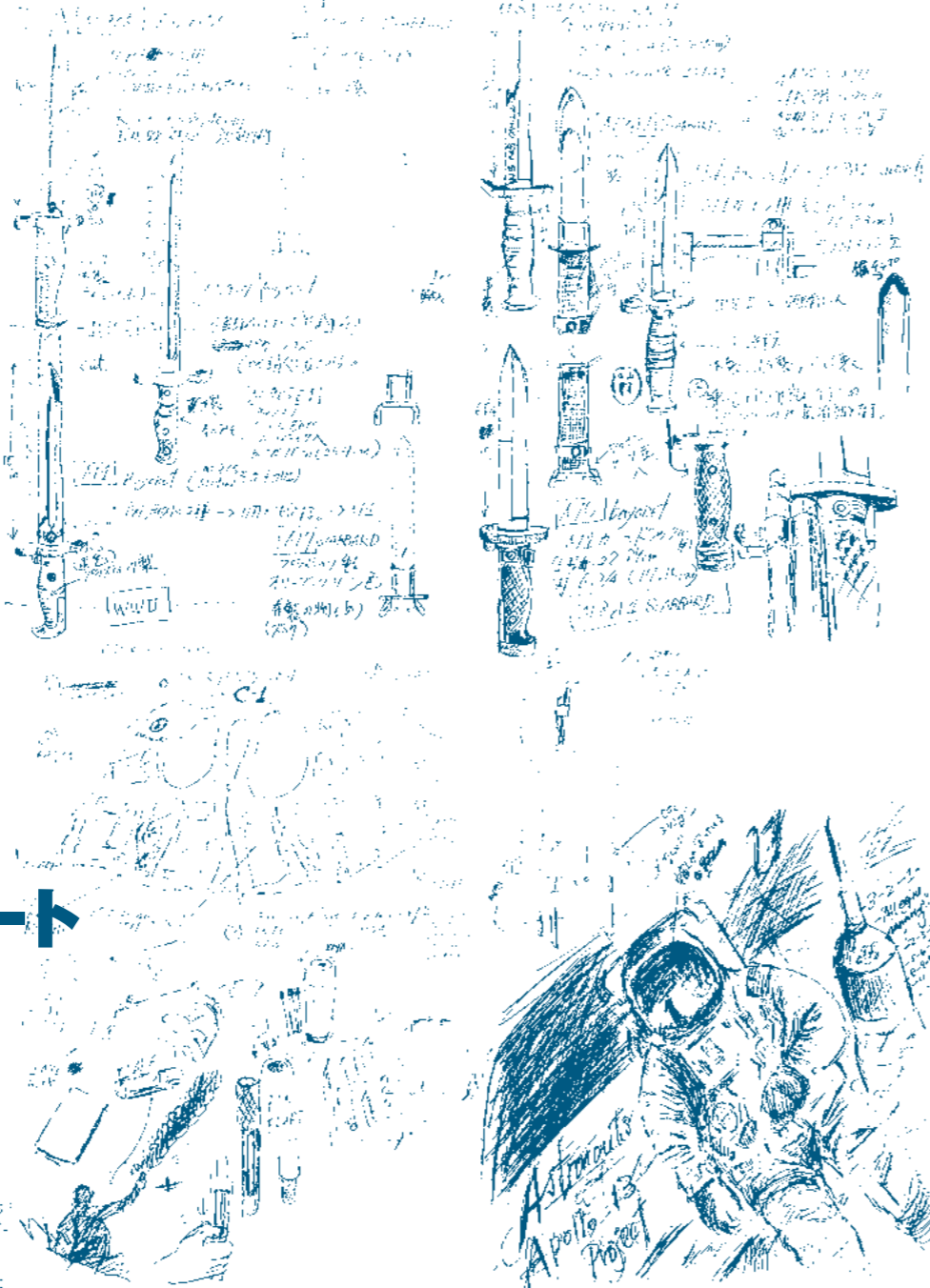
Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

Correspondents, Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Norman T.Hatch
Mikako Burks

M.Kellyの ミリタリー・ノート 大公開!!

好きなことに関してはとことん研究するのがM.Kellyの仕事の流儀。洋書や資料を参考に、アイデアを描きとめるのはもちろんお得意のイラストだ。本誌でも掲載しているイラストの下書きもご覧の通り。「最近ではモノ忘れが多いからただ描きながっているだけ」とは本人の弁。



WORLD **M**OOK

ワールド・ムック1066(通巻1066号)

平成27年5月20日発行

ミリ服DO!!

編集・発行人 ● 今井今朝春

発行所 ● 株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL:03(5385)8111 [編集部]

03(5385)5701 [販売部]

03(5385)5658 [広告営業部]

FAX:03(5385)5614 [編集部]

03(5385)5703 [販売部]

03(5385)5614 [広告営業部]

印刷所 ● 大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2015

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部あてにお送りください。

送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断転載、複製、転写を禁じます。

弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。http://www.monomagazine.com

ワールドフォトプレス ホームページ
http://www.monomagazine.com

